



圧倒的音楽で彩る、誰も見たことのない

音楽劇『Macbeth(マクベス)』

狂言共同社と TheatreProjectSi のコラボレーション
 あいちトリエンナーレ 2010・祝祭ウィークのオープニング・プロジェクト

国内最大級の国際芸術祭「[あいちトリエンナーレ](#)」が 2010 年、産声をあげました。地元・文化芸術団体との共催事業「[祝祭ウィーク](#)」のオープニングを飾るのが、この東西文化融合プロジェクト『Macbeth(マクベス)』です。日本が誇る伝統芸能「狂言」の継承・発展を目指し、名古屋を拠点に精力的活動を続ける、和泉流狂言の[狂言共同社](#)と、狂言師とオペラ歌手によるシェイクスピアシリーズの上演により東西文化融合を実現して来た Theatre Project Si のコラボレーションにより、このプロジェクトが実現しました。



野望の炎に焼かれ、やがて運命に飲みこまれて行く武将夫婦を描く、シェイクスピアの傑作『マクベス』。主演マクベスには、狂言共同社の誇る、実力派狂言師・[佐藤融](#)。夫を衝き動かして行く夫人役に、二期会のコロラトゥーラソプラノ・[土田聡子](#)。そして狂言共同社から[佐藤友彦](#)、[井上靖浩](#)、[鷲見政行](#)、和泉流野村派より[野村小三郎](#)、大蔵流より[茂山良暢](#)と、流派を超えた狂言師たちが参加し、その脇を強力に固めます。さらに、通常女性によって演じられる魔女 3 人を男声バリトン歌手が演じるという演出により、二期会の[吉川健一](#)や、[伊藤貴之](#)、[増原英也](#)が一同に会し、これまでにない魔女の場面を創造します。

今回の大きな見所の一つが、音楽。400 年の歴史を誇るパリのサントゥスタッシュ教会の世界的オルガン奏者である[ジャン・ギュー](#) ([Jean Guillou](#)) が、この『マクベス』の為に壮大な曲を書き下ろしました。演奏は、彼の愛弟子である[ジャン・モノー](#) (Jean Baptiste Monnot)。そして、パイプオルガンの壮大な音に拮抗し得るとして大抜擢されたのが、和太鼓界の若き雄、[谷口卓也](#)。この演奏者 2 人は、奇しくも同世代。次世代を担う若き 2 人の、かつてない音の競演が実現いたします。Theatre Project Si は、最後まで駆け抜けます。

狂言共同社とは、かつて尾張・徳川藩のお抱えであった和泉流山脇派の狂言を、現代へ継承している狂言師の団体である。明治維新で混乱した名古屋狂言界の衰退を憂慮した当地の狂言師達が、狂言の継承と発展を目的として、1889 年(明治 24)に創立。名古屋を本拠地としながら、全国各地の能舞台で活動中。主催公演「御洒落名匠狂言会」や、中堅・若手を中心とした「ナディア狂言」など、幅広い公演活動を続ける。 [> 公式サイト](#)



作曲：[ジャン・ギュー](#) アリア作曲：[石川潤一](#) 音楽アドバイザー：[吉田亮一](#)(IVS テレビ制作) 音楽コーディネーター：[小林功](#)
 衣裳：[吉田恒](#)(吉田装束店) ヘア&メイク：[山崎健志](#) 宣伝美術：[小池真奈美](#) 宣伝デザイン：[石川俊介](#)

原作：[W.シェイクスピア](#) プロデュース：[川橋範子](#)
 主催：[狂言共同社](#) [あいちトリエンナーレ](#)実行委員会 [愛知芸術文化センター](#)

共催：Theatre Project Si
 後援：中日新聞 名古屋市文化振興事業団 愛知芸術文化協会 日英協会 二期会 イタリア研究会 早稲田大学国際教養学院 関西大学アジア文化交流研究センター VivaCe 五島公認会計士事務所
 あいちトリエンナーレ 2010

祝祭ウィーク共催事業 [公式サイト >>](#)

2010 年 10 月 11 日(月・祝)14:00 開演 開場は 13:00 です。